



おとがわ



ふお～ゆ～

校長室だより

第 195 号

R7.2.21

文責 中西 勉



【6年】男川音楽コンクール ～心で表現した美しい歌声～

昨日の5時間目に、6年生が体育館で「男川音楽コンクール」を行い、その発表を5年生が参観しました。このコンクールは昨年度に続いて2回目となりますが、音楽専科の金子先生の指導を仰ぎながら、6年生の実行委員が企画・運営しました。

コンクールでは、「いのちの歌」を合唱しました。本番に向けて真剣に練習を重ねてきた子供たちの歌声には心が感じられ、とても美しく感動的でした。発表後の講評で、私はそれぞれの学級の良さを称賛すると共に、「いのちの歌」の歌詞の一節「♪本当に大事なものは 隠れて見えない ささやかすぎる 日々の中に かけがえのない喜びがある」を紹介しながら、「普段気付いていないだけで、自分の身近なところに幸せはあります。当たり前のように訪れる毎日の中で、生きていることに喜びを感じ、そして感謝しながら、自分で幸せを見つけ、心豊かに日々の生活を送ってください」と話をしました。

この男川音楽コンクールへの取組は、金賞・銀賞という結果以上に、学級全員が目標に向かって心を一つにし、努力を重ねたことに大きな意義があると思います。この経験が、小学校での貴重な思い出となると共に、中学校での合唱コンクールに向けて意欲を高めることにつながると信じています。

なお、審査結果は次の通りです。3学級とも本当によく頑張りました。おめでとうございます。

金賞 6年2組 **銀賞** 6年1組、6年3組 **オーディエンス賞** 6年2組

(3クラス中、最も印象に残ったクラスを5年生児童の投票で決める賞)



▲6年1組



▲6年2組



▲6年3組



【6-3】参加者を大いに楽しませた「文化祭」

今週17日(月)に、6-3が体育館で学級独自の「文化祭」を開催しました。交流のある学級の子供たちや男川小の先生方をたくさん招待し、体育館には多くの笑顔があふれていました。私も童心に帰って、楽しいひと時を過ごさせてもらいました。人を楽しませることに喜びを見出した6-3の子供たちもまた、その表情は最高に輝いていました。



▲アトラクションを楽しむ参加者たち